

包近町内でクビアカツヤカミキリが 発見されました！

- 繁殖力が非常に早く、一度発生すると、**急激に被害が拡大する**恐れがあります。
- このカミキリは、モモ、スモモ、ウメ、サクラなどを加害し、**樹木を衰弱させ、枯死させる**ため、早期発見・早期防除が何より大切です。
- 車などにつかまり、長距離を移動することもあるため、**道路沿いは特に注意が必要**です。

クビアカツヤカミキリの成虫
全体的に光沢のある黒色で、
胸部（首部）が**赤色**です



幼虫は、樹に潜り込み、
うどん状のフラス（木くずと
糞、樹脂の混じったもの）
を排出します



ジャコウのような、
独特な香りがします。

成虫を発見した場合は、**道具でたたくなどして殺虫**してください。
フラスが発見された場合は、**フラスを排出している穴を探し、
穴からフラスを取り除いて、穴の中にいる幼虫を針金等で刺殺するか、
樹幹・樹枝の食入孔に噴射できるタイプの薬剤を注入**してください。

※このカミキリは特定外来生物に指定されており、法律で移動・飼育が禁止されています。

**裏面に、クビアカツヤカミキリに使用できる薬剤、
及び発見時の連絡先が記載されています**

クビアカツヤカミキリに使用できる農薬 (赤枠で囲われている薬剤は、収穫前日まで使用できます)

作物名	農薬名 (成分名)	IRAC コード	適用害虫	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用回数
果樹類 ※	ロビンフッド、 ベニカカミキリムシエアゾール (フェンプロパトリン)	3A	カミキリムシ 類	—	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み 噴射	収穫前日 まで	5回 以内
果樹類	バイオリサ・カミキリ (ポーベリア ブロンニアティ)	—(生)	カミキリムシ 類	1本/樹	地際に近い主幹の分枝部分等に架ける	成虫発生 初期	—
もも	ロビンフッド、 ベニカカミキリムシエアゾール (フェンプロパトリン)	3A	カミキリムシ 類	—	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み 噴射	収穫前日 まで	5回 以内
	アクタラ顆粒水溶剤 (チアメトキサム)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日 まで	3回 以内
	モスピラン顆粒水溶剤 (アセタミプリド)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日 まで	3回 以内
	テツパン液剤 (シクラニプロロール)	28	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日 まで	2回 以内
	ハチハチフロアブル (トルフェンピラド)	21A	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	成虫発生 期但し、 収穫前日 まで	2回 以内
	ダントツ水溶剤 (クロチアニジン)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫7日 前まで	3回 以内
	ベニカ水溶剤 (クロチアニジン)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫7日 前まで	3回 以内
	オリオン水和剤40 (アラニカルブ)	1A	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	成虫発生 期但し、 収穫14日 前まで	2回 以内
バイオセーフ (スタイナーネマ カーポカブサエ)	—(生)	クビアカツヤ カミキリ	2500万頭 (約10g) 2.5Lに希釈	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで 樹幹注入	幼虫発生 期	—	

※果樹類(かんきつ、りんご、なし、びわ、もも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、マンゴー、いちょう(種子)、くり、ペカン、アーモンド、くるみ、食用つばき(種子)を除く)

※農薬の最新情報は、農林水産省の農薬登録情報提供システムで確認してください。
(<https://pesticide.maff.go.jp/>)

果樹園でクビアカツヤカミキリを発見したら、

泉州農と緑の総合事務所農の普及課(072-439-3601)

または、JAいずみの指導販売課(072-444-8001)

までご連絡ください。